

# 山寺通信 12月

カタログができました。順次皆様に発送しています。現在カタログの新製品 40%程在庫そろいました。メーカーが減り一軒のメーカーが多くて多くの製品を掲載するので、順番が来るまで今少しお時間をいただきたいと思ひます。常滑焼の急須の機能性は、世界各国から評価を受けています。その製法も量産する産地としては異色で、原料の土から焼成そして仕上げまで一貫して窯元で作られます。そしてロングセラーになっている製品は、使い易くて作りやすいシンプルなデザインの物です。四日市の万古焼の赤坂型と言う形がありました。この型はルーツをたどれば岐阜県の温故焼にたどり着きます。今は作られていませんが、形のバランスや機能、量産に向けた形でした。使い易い道具と茶葉が一体化されればお茶の見直しと復権に役立つと考えられます。従来よりも一つ踏み込んだ情報で消費者を取り込みます。日本茶程幅広い層に対応するものはありません。紅茶や中国茶は熱湯で淹れますが、日本茶は水から極端に言えば沸騰したお湯で淹れても飲めます。繊維質が壊されているので抽出しやすいです。いわゆるインスタント食品になっています。そこで、ベストの飲み方と同時に温度の違いにより変わる味などの情報を提示してみたらどうでしょうか。合組の解説はありますが、その結果を消費者わかりやすく伝えてお茶の個性を伝える方法を考えてみたらどうでしょうか。作られた食品は、基本的に殺菌のための高温加熱によるビタミン類の破壊、保存期間が長くなるための、成分が変わります。いわゆる「自然でなくなる」訳です。

## 2019-2020 カタログ抜粋

 <p>有田焼 赤絵 軽い 軽々陶器</p>	<p><b>【極平急須】</b> 極限まで平型にした急須は、茶葉が開きやすく、お茶の旨みを引き出します。胴の厚みの限界は、手の太さの幅です。</p>   <p>危甲 (万古焼) ① 5号 3,000 (1,000cc) Y19-00430 ② 8号 3,500 (1,500cc)</p> <p>比較的よく売れている製品</p>
 <p>浮城 Y19-395 ① 急須 9,500 □ (330cc) ② 茶碗 (1個) 2,500 (6.1×H6.8)</p>  <p>ファインアミの選び方 お手持ちの急須のサイズを確認してお選びください。 W(幅)・・・急須の蓋を乗せる際の幅。大きすぎなければ使えます。 D(直径)・・・急須の胴に収まる幅。 H(高さ)・・・急須の胴の深さで許すのではなく、急須の形によっては途中までしか入りません。</p> <p>Y19-0112 550 (W14×D6.5×H6.8) Y19-0116 600 (W19×D6.5×H6.8)</p>	 <p>宝瓶の中にお湯を2つ入れられるので、旅籠用にお勧めです。</p> <p>青磁鍋 (有田焼) Y19-0494 ① 急須 2,100 (宝瓶) (220cc) ② 湯呑み 1個 700 (7.6×H3.7)</p>
<p>前川淳蔵若手のホープ ファインアミ種類増えました</p>  <p>一珍和花 (赤) (有田焼) Y19-0825 2,000 (8.8×H10.3) 一珍和花 (黒) (有田焼) Y19-0826 2,000 (8.8×H10.3) 一珍和花 (急須) (有田焼) Y19-0827 3,300 □ (250cc)</p> <p>有田焼 イッチンモダン茶器揃い</p>	<p>有田焼 新作茶器</p>  <p>南部の新作 弦が熱くない</p>



組紐・南部鉄器新作

